

		科目コード	20166
		認定社会福祉士研修認証科目	
科目名	成年後見と意思決定支援		
講師	曾根 直樹		
回数	全8回（4日間）		
日時	6月28日・7月5日・12日・19日（金）19：00～22：10		
場所	6月28日・7月12日 ハイブリッド（文京キャンパス+オンライン（Zoom）） 7月5日・19日 オンライン（Zoom）		
単位数	1単位		
内容	<p><b>【概要】</b></p> <p>本講義は、民法等の関連条文や障害者権利条約等を参照し、権利擁護についての理解を深めつつ、家庭裁判所の成年後見実務（特に書式）を確認しながら、実践的な成年後見制度（知識、技術、実務）や演習を通じての意思決定支援の理解をめざす。</p> <p>※ 成年後見実務を担った経験のない受講者は、受講の準備として、インターネットで「裁判所   動画配信」を検索し、①成年後見～利用の仕方と後見人の仕事、②後見人になったら～後見人の仕事と責任の本編とその他を視聴する。また「裁判所各種パンフレット」→家事事件を検索し、①成年後見制度～詳しく知ってもらうために、②後見制度において利用する信託の概要を確認する。さらに「裁判所   成年後見等申立て」を検索し、①成年後見等申立てチェックシート、②申立書類（記載例も含めて）、③診断書、④登記事項証明書を確認する。そして最後に「裁判所   成年後見関係事件の概況」を検索し、平成12年から現在までの統計データを確認するとよい。</p> <p><b>【ねらいと到達目標】</b></p> <p>判断能力の不十分な高齢者等の権利擁護を担うシステム（社会福祉のインフラ）としての成年後見の実務を理解し、障害者権利条約の要請も踏まえ、意思決定支援を基本とした実践力を養う。</p> <p>民法の成年後見制度の理解を基本としつつ、成年後見制度利用促進法により進められている制度の改革について理解する。また、関連する意思決定支援について、演習を通じて実践的に理解できるようになる。</p> <p><b>【進行予定】</b></p> <p>第1回民法の基本と成年後見制度 第2回民法の基本と成年後見制度 第3回成年後見制度の概要 第4回成年後見制度の概要 第5回成年後見制度利用促進と障害者権利条約の要請 第6回意思決定支援の概要 第7回意思決定支援の概要と演習 第8回意思決定支援の演習</p> <p>〈参考文献等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度厚生労働科学研究「障害者の意思決定支援の効果に関する研究」報告書</li> <li>・日本社会福祉士会編「権利擁護と成年後見実践—社会福祉士のための成年後見入門（第2版）」（民事法研究会、平成25年）</li> <li>・東京家裁後見問題研究会編著「後見の実務」（別冊判例タイムズ36号、2013年）</li> <li>・「障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン」</li> </ul>		

	<a href="http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12200000-Shakaiengokyokushougaihokenfukushibu/0000159854.pdf">http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12200000-Shakaiengokyokushougaihokenfukushibu/0000159854.pdf</a>
出願切	5月 1日 (水) (消印有効)